

別紙

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

幸陽船渠株式会社

(2) 事業所の所在地

広島県三原市幸崎能地2丁目1-1

(3) 業種

3131 船舶製造修理業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成16（2004）年度を基準年度とし平成24（2012）年度より平成27（2015）年度までの4年間とする

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a)	目標年度 上段：見込量(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成16年度	平成27年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO ₂							
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 実排出量総計							
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

温室効果ガスの種類	基準年度の実績(a)	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成16年度	平成27年度	平成24年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO ₂	8.39	7.91 5.7%	7.69 8.3				
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 総排出量 t-CO ₂			30,924				
エネルギー消費 原単位 (原油換 算k1)			11,886				
実績に対する 自己評価	良好						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	A重油原単位を5%削減	自家発電電量の削減
2	電気使用量の削減	電気原単位を4%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・漏れエアー対策によるコンプレッサ電力量の減少 ・照明器具を省エネタイプに変更 ・不使用時トランス切の取組み
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
	廃棄物排出量の削減	廃棄物を5%削減	分別収集及び資源化の徹底
	リサイクル率の向上	リサイクル率を10%向上	リール廃材の全品回収
	緑地の増設	緑地5%増設	植樹

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。